

# 無印良品の家 NEWS RELEASE

2024年3月1日  
株式会社 MUJI HOUSE

## 無印良品の家「窓の家」国内最高の断熱性能 「断熱等級 7」への対応を新たに開始

「無印良品の家」を展開する株式会社 MUJI HOUSE（本社 東京都豊島区 代表取締役社長 堂前 宣夫）は、当社戸建商品である「窓の家」において、2022年10月施行「断熱等性能等級」（以下、断熱等級）改定に伴い新設された最高基準 断熱等級 7 に対応した仕様（以下、「本仕様」）を2024年3月1日より新たに開始いたします。<sup>※1</sup>

2025年には全ての新築住宅に断熱等級 4 以上が義務化、さらに2030年には、断熱等級 5（ZEH水準、長期優良住宅認定基準）が最低基準になる予定です。国も住宅の高断熱化に向けて動き出している中、無印良品の家では最高水準である断熱等級 7 に対応した仕様を開始。本仕様は、当社戸建商品の「窓の家」にプラスできるオプション商品となります。

※1 国土交通省が定める省エネ基準地域区分における1～3地域は「断熱等級 6」の仕様となります。



### 高断熱仕様「窓の家」対応開始の背景と目的

無印良品の家は、創業以来「永くつかえる」家づくりを追究してきました。これまでも2011年から室温維持に必要なエネルギー量を計算し、実際にかかる電力消費量や節約効果がわかる温熱シミュレーションの全棟実施、また2015年より、環境に配慮した高性能な住宅の実現のため、ダブル断熱+トリプルガラスサッシの標準仕様化を行ってまいりました。

上述の通り、2050年カーボンニュートラルの実現の取組のひとつとして、国も住宅の高断熱化に向けて動き出している中、今後永く暮らすためには、住む人だけでなく環境にも優しい住まいであることが必須条件であると考えます。そこで当社では、未来に向けた環境に優しい家づくりの一環として、国内最高水準の断熱等級 7 を達成する、高断熱仕様の「窓の家」の対応を開始するに至りました。家づくりをスタートして25年目を迎えた当社では、環境に優しい家づくりのトップランナーとして、次の25年、2050年を見据えた新たなモデルを今後も展開してまいります。

## 高断熱仕様「窓の家」の特長

標準仕様の「窓の家」は、既に UA 値 0.38<sup>※2</sup>、断熱等級 6、また一次エネルギー消費量等級は最高等級 6 に対応しておりますが、高断熱仕様「窓の家」は、更に断熱性の高い仕様に改良することで、UA 値 = 0.23、断熱等級 7<sup>※1</sup> のモデルを実現することができました。この結果、年間冷暖房費は断熱等級 5 相当の一般住宅と比較し、約 45%削減効果<sup>※3</sup>が見込まれ、省エネ性の高い仕様となっております。

※2 2022 年度に販売した窓の家の実績の平均値

※3 アメダス気象データをもとに算出する当社室内環境シミュレーション「+AIR」により、モデルプランの 6 地域（東京）における冷暖房費を、電力単価 28 円で算出したものであり、実際の冷暖房費を保証するものではありません。



### トリプルガラス樹脂窓

ガラス面:トリプルガラス  
サッシ:樹脂サッシ  
トリプルガラスに樹脂サッシを組み合わせた断熱窓を採用し、明るさを取り込みながら熱の出入りを防ぎ、快適な室内環境をつくれます。

### 基礎内断熱

立上り:押出法ポリスチレンフォーム 100mm  
ベース:押出法ポリスチレンフォーム 30mm  
建物の外周に面した基礎コンクリートの立ち上りの内側に断熱材を張る「基礎断熱工法」を採用。外気が床下に入り込まず、室内の断熱性と気密性を高めます。断熱材の厚みを従来の約 3 倍とすることで、さらに断熱性能を向上しています。



### 天井断熱

外断熱:フェノールフォーム 180mm  
天井の断熱材の厚みを従来の 2 倍とすることで、さらに断熱性能を高めています。

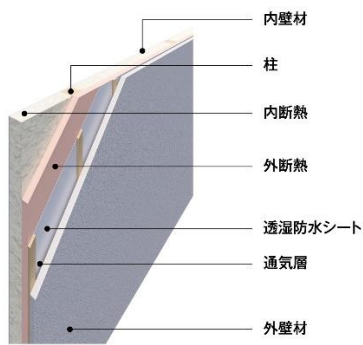
### 壁断熱 (ダブル断熱)

内断熱:高性能ガラスウール 20K 105mm  
外断熱:フェノールフォーム 60mm  
外断熱と内断熱のメリットを兼ね備えたダブル断熱工法。外断熱材の厚みを従来の 1.5 倍とすることで、さらに断熱性能を高めています。

窓の家

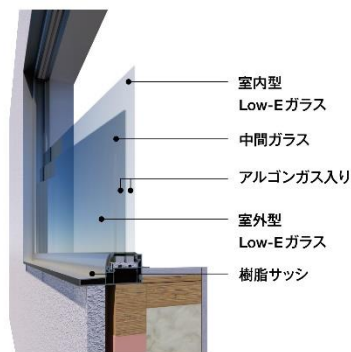
高断熱仕様

## ダブル断熱



無印良品の家で標準採用しているダブル断熱工法。内断熱だけの場合、柱や梁などの構造材で断熱材が途切れてしまいますが、ダブル断熱では、この部分を外断熱材がすっぽりと包み込み、高い断熱性能が発揮されます。本仕様では外断熱に使用されるフェノールフォームの厚みを従来の1.5倍、内断熱のグラスウールの密度を1.25倍とし、断熱性能を大幅に向上しました。

## トリプルガラス+樹脂サッシ



窓は家の中で最も熱の出入りが大きい場所。無印良品の家では、大きな窓を作っても快適に過ごせるよう、断熱性の高いLow-Eトリプルガラスを標準採用しております。本仕様ではサッシに樹脂サッシを採用。トリプルガラスとの組み合わせで熱貫流率は従来の1.5倍に<sup>※4</sup>。より冷暖房効率を高め、光熱費を削減します。

※4 すべり出し窓/熱貫流率  $0.89\text{w}(\text{m}^2\cdot\text{K})$ の場合

## 供給開始時期と販売価格

2024年3月1日（金）より受注開始いたします。販売価格はベースプランによって異なりますが、2024年3月15日（金）以降、WEBサイト内の「かんたん見積」サービスにて本仕様の価格をWEB上でご覧いただけます。

「かんたん見積」サービス：<https://www.muji.net/ie/tokucho/kakaku/>

窓の家高断熱仕様特設サイト：[https://www.muji.net/ie/modelhouse/theme/dannetsu\\_240301.html](https://www.muji.net/ie/modelhouse/theme/dannetsu_240301.html)

## 家づくり応援フェアについて

本仕様の受注開始と併せて、2024年3月1日（金）から3月31日（日）までの期間中、無印良品の家をご契約いただいた方を対象に無印良品・IDEEの家具70万円分をプレゼントする「家づくり応援フェア」を開催いたします。



## （参考）無印良品の家 共通コンセプト・耐震性能について

### 永く使える、変えられる

無印良品の家は「永く使える、変えられる」をコンセプトに、耐震性および耐久性の高いS E 構法の採用により「永く使える」ことを可能にし、将来の家族構成やライフスタイルの変化に合わせて間取りを柔軟に変更できる、「変えられる」家づくりを実現しています。その結果、高い断熱性能と合わせて、全棟国土交通省が定めた長期優良住宅の認定仕様を上回る性能を有しています。<sup>※5</sup>

※5 床面積 75 m<sup>2</sup>未満、計画道路にかかる敷地など、条件が満たない場合、長期優良住宅認定は対象外となります。

### 全棟構造計算を実施し、より信頼性の高い耐震性能

無印良品の家ではすべての建物を「耐震等級 3」の耐震性を確保しており、採用しているSE 構法は、強度が明確な「構造用集成材」の柱と梁を「SE 金物」で接合し、構造の耐久性を数値で証明する「構造計算」を可能にしています。無印良品の家では建設するすべての建物を、一棟ずつ個別に構造計算を実施しています。

### 「窓の家」について

「窓の家」は、2007年4月に発売を開始しました。大きな特長として、家を暮らしから考えているということです。毎日の暮らしをより豊かにするための大事な要素として考えたのが「窓」です。「窓の家」は必要な場所に必要な大きさの窓を配置することができます。絵画を見るように風景を窓で切り取って見る、例えば昔の茶室のように床の近くの地窓からみる坪庭の風景や、高窓から見える雲の断片。それらはピクチャーウィンドウとして気持ちのいい空間を演出してくれます。

内部の吹抜けに作ったもうひとつの窓からは、家族の気配を緩やかに感じる事ができます。外部に面した窓は、外部とのつながりを。内部の窓は家族のつながりを。それぞれ窓は暮らしのなかで大事な役割をもっていると考えています。

2008年度グッドデザイン賞 金賞受賞



### 株式会社 MUJI HOUSE 会社概要

社名 株式会社 MUJI HOUSE 代表取締役社長 堂前 宣夫

所在地 〒112-0004 東京都文京区後楽 2 丁目 5 番 1 号

電話 03-6699-7400

設立 2000年5月31日

資本金 1億4,900万円（2021年5月1日現在）

事業内容 無印良品の家を中心とした住空間の事業の運営／商品企画／開発／卸しおよび販売

#### <本件に関するお問合せ>

株式会社 MUJI HOUSE TEL : 03-6699-7400 mail : info-living@muji.net